

各位

2025年10月31日
古河機械金属株式会社

高専生・大学生・大学院生向けに 5Days インターンシップ[®]を実施 ～中核事業会社の工場体験型インターンシップ～

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、2027年3月卒業・修了見込みの高専生・大学生・大学院生（合計28名）を対象に当社グループの中核事業会社の工場にて5日間の体験型インターンシップ[®]を実施しました。

今回、学生を受け入れたのは、古河産機システムズ（本社：東京都千代田区、社長：岩間 和義）の小山栃木工場、古河ロックドリル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山口 正己）の高崎吉井工場、古河ユニック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅野 悌二）の佐倉工場にて、計20日間（各5日間×4回）行いました。

当インターンシップは、各事業の製品設計、組立、操作などの体験や社員との懇談を通じて、製品やモノづくりへの関心を広げ、当社グループで働くイメージを持ってもらうことを目的として毎年実施しています。今後も、学生のキャリア教育支援として、業界研究や進路検討の場を提供することで、採用活動のさらなる充実に取り組んでいきます。

■ インターンシップ概要

場所	古河産機システムズ株式会社 小山栃木工場（栃木県小山市および栃木市） 古河ロックドリル株式会社 高崎吉井工場（群馬県高崎市） 古河ユニック株式会社 佐倉工場（千葉県佐倉市）
対象	2027年3月卒業・修了見込みの高専生・大学生・大学院生 合計28名
日数	小山栃木工場・高崎吉井工場各5日間、佐倉工場5日間×2回
内容	・会社、製品、業務概要の説明 ・工場、製造工程、実機の見学 ・3D_CAD実習 ・設計、解析、製造、分解、組立、プログラミング、製品操作、オフラインティーチング、完成検査等の実習および体験 ・社員との懇談会

■ 参加した学生の感想（抜粋）

- ・ポンプ製品を題材に設計を行い、図面から製品へのつながりと設計業務の重要性を体感し、楽しく学べた。
- ・製品を安全に使用する上で重要な解析を実際に行い、設計業務の内容をより深く理解できた。
- ・密閉式吊下げ型コンベヤ SICON デモ機を見学することで、説明内容や設計した部品への理解が深まった。
- ・CADを用いた設計体験では、一から自分で条件を満たすモデルを作るのが初めてだったので、やりがいがあった。
- ・油圧ブレーカの分解・組立体験では、メンテナンスの要点を学ぶことができた。
- ・トンネルドリルジャンボの実機操作では、手動で動かすことの難しさを実感し、全自動操作の効率性を理解できた。
- ・大学で学んだ内容が実際の仕事に活かされており、とても興味深く、これからの研究や勉強のモチベーションになった。
- ・他のインターン生と意見を出し合い、協力しながら設計業務の本格的な実習を行うことができた。
- ・設計課題に沿って部品を図面化し、強度や周囲の部品との位置関係を検討する中で、設計の奥深さを実感した。
- ・自分でコーディングしたシステムでクレーンの実機を停止できたときは嬉しかった。
- ・1部品ではあるが、実際の使用箇所を意識し、自分の考えた配置や設計を任せてもらったのは貴重な経験だった。

〈問い合わせ先〉

・お知らせに関して

古河機械金属株式会社 経営企画部広報・IR課 TEL：03-6636-9501

・採用・インターンシップに関して

古河機械金属株式会社 人事総務部人材開発課 TEL：03-6636-9500

■ インターンシップの様子



ポンプ製品の設計実習（小山工場）



マテリアル製品見学（栃木工場）



全自動ドリルジャンボ見学（吉井工場）



プラストホルドリル製品の設計実習（吉井工場）



クレーンプログラミング実習（佐倉工場）



アナログ基盤設計（佐倉工場）

【補足資料】

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,908人 〈単独〉205人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp>

【古河産機システムズ株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：岩間 和義

事業内容：足尾銅山の鉱山機械修理技術をルーツに、現在はスラリーポンプ、汚泥ポンプ、破碎機、スクリーンのほか、鋼橋梁やベルトコンベヤ等の設計・製造・据付工事・運転管理を行っています。

設立：2004（平成16）年5月

資本金：3億円

従業員数：448名[2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawa-sanki.co.jp/>

【古河ロックドリル株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：山口 正己

事業内容：1914年、国産初の手持ち式さく岩機の開発が始まりで、現在はさく岩機のトップメーカーとして、油圧ブレーカ、油圧クローラドリル、トンネルドリルジャンボなど、インフラ整備、鉱山開発に不可欠なさく岩機の製造・販売を行っています。

設立：1961（昭和36）年6月

資本金：4億円

従業員数：524人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawarockdrill.co.jp/>



強みの「ドリフト」をコアコンピタンスとして共通の旗印に掲げ、キャッチコピー「KEEP THE BEAT!!!」を設定し、強靱な組織を目指しています。

【古河ユニック株式会社】（古河機械金属株式会社100%子会社）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：菅野 悌二

事業内容：1961年に国産初の車両搭載型クレーン「ユニッククレーン」を開発。ユニッククレーンは、トラックに搭載することで「吊る・積む・運ぶ・作業する」の一連の作業を効率化した荷役機械です。現在ではユニッククレーン、ミニクローラクレーンなどの製造・販売を行っています。

設立：1946（昭和21）年4月

資本金：2億円

従業員数：480人 [2025年3月31日現在]

WEBサイト：<https://www.furukawaunic.co.jp/>